

“あつたらいいな”の子育て支援

パレット通信

新しい事、スタート！

発行 NPO 法人ワーカース・コレクティブパレット
発行責任者 山田範子
横浜市青葉区市ヶ尾町 1167-3 メゾンラフォーレ 105
TEL/FAX 045-975-2309
Email:palette2000@gaea.ocn.ne.jp
URL:http://www.palette2000.com
2014年8月10日発行



福島の地に立って

あの震災から3年、長いのか短いのか分かりませんが、これまでパレットのメンバーがお祭り等で集めた義援金を直接現地で活動している方にお届けしたくて、5月の連休に福島県南相馬市に出かけました。

南相馬市は福島県の北東部海岸沿い、新幹線福島駅からは現在まだ開通していない常磐線の代行バスで放射能濃度が高いと言われている飯館村を通って行ったところに位置しています。

現地では震災後南相馬で子どもたちの今後を考えて立ち上げられた「NPO 法人南相馬こどものつばさ」の事務局の方に紹介して頂いた「ベテランママの会代表：番場さち子さん、よつば保育園副園長：近藤能之さん、南相馬こどものつばさ代表：西道典さん」から震災当時の様子やその後の団体としての取組等のお話を聴かせて頂きました。

「被災した子どもたちはこの経験を語らなければならない」「まだ海には足を運べない」「三年間という月日はやる気も機械も錆びつかせてしまった（米作りに関して）」など…。一つひとつの言葉は非常に重いもので、次の言葉が出てきませんでした。

現地で除染作業に携わっている方が車で津波被害にあった地、原子力発電所の崩壊で人が常駐して生活できなくなった地を案内してくれました。瓦礫を整理して何も無くなった場所、「町」から人が居なくなり線路には雑草が茂っている駅、毎日放射能測定器と共に過ごす生活。計り知れない不安と共に日常を過ごされていることを肌で感じてきました。

今後私たちは何を思っ何をしたいかなくては行けないか、大切なものを見失わないよう行動していきましょう。



かろうじて残った家は…

第10回 パレット総会

第10回パレット総会が5月18日に行われました。

44名の出席者と共に、平成25年度の活動報告と平成26年度の活動方針を検討しました。

今年は、地域子育て支援拠点ラフォーレに「横浜子育てサポートシステム青葉区支部移管」という大きな事業も控えていますが、直接訪問できるという利点を活かして子育て支援の充実を図っていききたいと考えています。



パレットは介護保険が始まった2000年に、「子育ても社会全体で見守っていききたい」と子育ての社会化を目指して「子どもミニディサービスまーぶる」を作りました。

あれから15年、子ども・子育て三法が制定され、制度が大きく変わろうとしています。全ての子育て家庭のために、子育てが社会保障の一つとして位置づけられたことは本当に喜ばしいことです。地域子育て支援の詳細はこれから決まっていく部分ですので、注視して意見を出していきたいと考えています。

パレットはこれからも目の前の親子に寄り添い、妊婦さんから思春期までの切れ目のない子育てを応援していきたいと思いません。又、総会後には、パレットが切望していた福島の「ベテランママの会」の番場さち子さんから震災時とその後の様子をお話していただきました。



「震災当日は卒業式で記念写真を撮りましたが、この子はもういません」と淡々とお話されたお姿が忘れられません。「パレットは継続して応援していきます」と今まで集めた義援金を手渡しました。



こどもミニディサービス まーぶる
障がいがあってもなくても、理由を問わずお預かりする保育室です。



パレット家庭的保育室 なないろ
認可保育園待機のお子さんをお預かりする、少人数で家庭的な保育室です。



横浜市補助事業 いらくらぶ
放課後の子ども達の安心安全を守り、一人一人がホッとできる学童クラブです。